

【別添様式 2：不適合事象完了報告書】

不適合事象の種類	火災（区分3）
不適合事象発生場所	リサイクルプラザ 1F 可燃粗大ごみ破砕機、せん断物コンベア
不適合事象発生日時	平成 22 年 4 月 30 日 13 時 35 分
1) 不適合事象の発生概要	リサイクルプラザ1階に設置してある可燃粗大ごみ破砕機の下部出口及びその下にある破砕後のごみを搬送するせん断物コンベア（金属製）において、破砕後のごみが異常燃焼した。
2) 不適合事象の原因	可燃粗大ごみ中に混入していた何らかの引火物（可燃性ガス等）が破砕機内で発生した火花により引火し、破砕中のごみに着火した。一部は破砕機から落下し、せん断物コンベア上で燃え出したものと推定される。
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況：無 ②人的被害状況：無 ③二次被害状況：無 ④周辺環境への影響：無
4) 不適合事象発生時の対応等	せん断物コンベアの破砕機に近いところに設置してある炎検知器が検知したと同時に、自動で消火用散水装置から散水を開始した（コンベアは自動停止する。）。せん断物コンベア水平部で異常燃焼している火を、職員が水道水により消火。さらに、念のため、手動操作により、せん断物コンベア及びN02可燃物コンベアを運転、さらにN02可燃物コンベアからの乗り継ぎ先のN03可燃物コンベアを逆回転させ、ごみを床に落とし、火種が残っていないことを確認するため、屋内消火栓を使用し、更なる散水を行った。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止期間： 日（ 時間） / 低負荷時間： 0 時間 復旧日時：平成 22 年 4 月 30 日 13 時 50 分（鎮火確認） 川西市北消防署員による現場検証等が行われた。
6) 不適合事象の調査及び防止対策等の状況	①不適合事象対策本部の設置：無 ②周辺環境調査の実施：無 ③不適合事象調査委員会の開催：無 ④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 1) 不適物（ガスボンベ等危険物）を除去するために徹底して選別作業を行います。 2) コンベヤダクト内での異常燃焼を未然に防ぐため、炎検知器を可燃粗大ごみ破砕機出口の散水ノズル手前に1台増設し、可燃粗大ごみ破砕機落ち口での炎検知の確率を向上させます。 3) せん断物コンベヤ立ち上がり部に散水ノズル（2ヶ所）を増設し、コンベヤダクト内の異常燃焼に対し消火が容易に行えるよう対策を講じます。 4) ごみの分別については、構成市町とも連携して、広報「森の泉」等により啓発に努める。
7) その他	可燃粗大ごみ破砕機等は、炎やガス等の検知装置及び自動消火装置を備えており、想定された設備である。コンベヤダクト内で炎が発生し、ダクト内で消火した事象であり施設への影響はなかった。 ----- [参考] 「火災」とは、人の意に反して発生し若しくは拡大し、又は、放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するため消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。